

第37回秋田県優良工事表彰 第2回秋田県優良業務表彰



平成28年8月
秋 田 県

表紙：第37回秋田県優良工事表彰から

左上：県単河川改良事業（米代川）27-0-K102-10工事

右上：中ノ台地区 予防治山事業 RH1113A180工事

中央：能代松陽高等学校体育館棟建築工事

左下：畑野地区 農業水利施設活用小水力発電施設整備事業 27-00102-K01工事

右下：地方街路交付金事業（都市計画道路中央線）27-27-SB74-20工事

第37回秋田県優良工事表彰式 第2回秋田県優良業務表彰式

とき 平成28年8月31日(水)
午後3時～5時
ところ 秋田県庁正庁

次 第

1. 開式のことば
2. 式 辞 知 事
3. 来賓祝辞 県議会議長
4. 審査報告 建設部建設技監
5. 表彰状授与(工事) 知 事
6. 受賞者謝辞(工事) 受賞者代表
7. 表彰状授与(業務) 知 事
8. 受賞者謝辞(業務) 受賞者代表
9. 閉式のことば



第37回秋田県優良工事表彰から
大館地区統合高校（仮称）校舎棟（A工区）建築工事

目 次

・ お祝いの言葉	2
・ 第37回秋田県優良工事表彰及び 第2回秋田県優良業務表彰について	3
・ 第37回秋田県優良工事表彰工事一覧表	4
・ 表彰工事の概要	6
・ 秋田県優良工事表彰選考委員会及び幹事会名簿	37
・ 秋田県優良工事表彰要綱	38
・ 第2回秋田県優良業務表彰業務一覧表	40
・ 表彰業務の概要	41
・ 秋田県優良業務表彰要綱及び選考委員会名簿	47



秋田県知事
佐竹 敬久

お祝いの言葉

第37回秋田県優良工事表彰及び第2回秋田県優良業務表彰を受賞されました皆様に対し、心からお祝い申し上げます。

優良工事表彰制度は、県内建設企業の技術力の向上を目的に、昭和55年に創設され、今年度で37回目を迎えました。今回受賞された31件は、対象となる1,546件の工事から選定されたもので、優れた施工技術と綿密な施工管理のもとに完成された工事であります。

また、優良業務表彰制度については、県内建設業の測量や調査・設計を行う技術者の育成・確保を図ることを目的に昨年度創設され、今年度が第2回目の表彰となります。今回受賞された6件は、642件の対象業務の中から選定され、いずれも、豊富な経験と優れた識見により完了した業務であります。

建設業は、生活や経済・産業活動を支える社会資本整備の担い手として、また、県民の安全・安心な暮らしを守る基幹産業として、重要な役割を担っております。

県では、今後とも、県内建設関連企業の受注機会の確保や、新技術・新工法導入等による活動領域の拡大に向けた支援とともに、今後、増加が予想される施設の更新や長寿命化に係る公共事業予算の確保に努めるなど、建設産業の振興に取り組んでまいります。

受賞された皆様をはじめ、建設産業に携わる方々におかれましては、本県における社会資本整備の担い手として、一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。お祝いの言葉といたします。

第37回秋田県優良工事表彰及び第2回秋田県優良業務表彰について



秋田県優良工事表彰幹事長
秋田県 建設部 建設技監
柴田 公博

秋田県優良工事表彰は、建設技術の向上を図ることを目的に、県発注工事の中から特に優秀な工事を選定し、これを施工した県内企業と技術者を表彰するもので、表彰には、「優良工事表彰」と、単独企業として優良工事表彰5回目、10回目の受賞者に与えられる「特別表彰」があります。平成20年度からは、小規模工事ながら地域の発展に寄与している企業に対して、各地域振興局長が表彰する「地域振興局長表彰」を創設しております。

今回は、平成27年度に完成した工事の中から、31件の工事を優良工事として表彰するものです。施工者の内訳は22社、9共同企業体となっており、このうち、1社が10回目の受賞、6社が5回目の受賞となるため、これを特別表彰とするものです。

これらの工事においては、気象条件やそれぞれの施工上の厳しい制約を克服する優れた技術力と創意工夫、品質向上や安全対策における独自の取り組み、関係機関・地域住民との円滑な調整などが評価されたものであり、そのご努力に対し敬意と感謝を表すものであります。

また、平成27年度からは、県内建設業の測量や調査・設計を行う技術者の育成・確保を図ることを目的に、秋田県優良業務表彰が創設されました。

こちらは、平成27年度に完了した業務の中から、6件の業務を優良業務として表彰するものであり、専門技術力や品質管理能力、施工時への配慮等において特に優れていると評価されたものであり、他の模範となる業務であります。

今回の優良工事表彰及び優良業務表彰を機に、維持管理時代に対応した新たな技術の習得など、今後とも一層の技術の研鑽と創意工夫に努められますことを期待しております。

第37回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(1/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
1	8	県単河川改良事業 (米代川) 27-0-K102-10工事	鹿角市 十和田末広	株式会社柳沢建設	柳沢 義生	鹿角地域振興局
2	5 今回 特別表彰	県単河川改良事業 (米代川) 27-0-K104-10工事	鹿角市 花輪	株式会社米村組	米村 茂	鹿角地域振興局
3	宮原組 9 秋田土建 9 沢木組 7	県単道路補修事業 (杉沢上小阿仁線) 27-G352-30工事	上小阿仁村 南沢	宮原組・秋田土建・ 沢木組 特定建設工事共同 企業体	宮原 竜也	北秋田地域振興局
4	中田 7 大高 0 高田 0 サンワ 0	能代松陽高等学校 体育館棟建築工事	能代市 緑町	中田・大高・高田・サ ンワ 特定建設工事共同 企業体	見上 重新	北秋田地域振興局
5	伊藤羽州 5 花岡 7 小坂橋 1	大館地区統合高校(仮称) 校舎棟(A工区)建築工事	大館市 片山町	伊藤羽州・花岡・小 坂橋 特定建設工事共同 企業体	石山 清武	北秋田地域振興局
6	4	能代松陽高等学校 自転車置場建築工事	能代市 緑町	田中建設株式会社	田中 洋平	北秋田地域振興局
7	9	岩館漁港 水産生産基盤整備事業 10127-K03工事	八峰町 字岩館	大森建設株式会社	大森 三四郎	山本地域振興局
8	5 今回 特別表彰	西山下地区 防災林造成事業 RC1103A021工事	能代市 浅内	成田建設株式会社	成田 保	山本地域振興局
9	5 今回 特別表彰	地方道路等整備事業 (富根能代線) 26-I407-20工事	能代市 真壁地	斎藤建設株式会社	斎藤 宗一郎	山本地域振興局
10	3	県単河川改良事業 (藤琴川) 27-K207-20工事	藤里町 馬坂	有限会社伊藤組	伊藤 与四郎	山本地域振興局
11	沢木組 7 伊藤羽州 5	能代港第2灰捨護岸建設事業 (能代港外港地区) 26-Z102-K3工事	能代市 河戸川	(株)沢木組・(株)伊藤羽 州建設 特定建設工事共同 企業体	沢木 則明	能代港湾事務所
12	7	平沢地区 農地集積加速化基盤整備事業 05003-K01工事	秋田市 雄和平沢	株式会社沢木組	沢木 則明	秋田地域振興局
13	岡精0 加賀屋 3	穴堰地区 ため池等整備(用排水)事業 00503-K01工事	秋田市 外旭川	岡精・加賀屋 特定建設工事共同 企業体	岡部 茂	秋田地域振興局
14	4	一ノ目潟地区 ため池等整備(用排水)事業 00311-K01工事	男鹿市 北浦	株式会社加藤組	加藤 義光	秋田地域振興局
15	伊藤羽州 5 成田 5	秋田湾・雄物川流域下水道 事業 (湖東幹線) YA45-11工事	三種町 川尻	伊藤羽州・成田 特定建設工事共同 企業体	石山 清武	秋田地域振興局
16	5 今回 特別表彰	地方道路交付金事業 (国道285号) 27-HF16-10工事	五城目町 中津又	秋田瀝青建設株式 会社	斎藤 豊隆	秋田地域振興局


※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない

第37回秋田県優良工事表彰 工事一覧表(2/2)

番号	受賞回数 特別表彰	工事名	工事箇所	施工業者	代表者名	発注公所
17	3	地方道路交付金事業 (国道285号) 27-HF16-40工事	五城目町 中津又	秋田舗道株式会社	青池 宏志	秋田地域振興局
18	5 今回 特別表彰	統合補助改修事業 (臨港道路埋立幹線) 26-PC12-10工事	男鹿市 船川港船川	株式会社加藤建設	加藤 正己	船川港湾事務所
19	3	畑野地区 農業水利施設活用小水力発電 施設整備事業 27-00102-K01工事	にかほ市 大竹	三共株式会社	安倍 秋一	由利地域振興局
20	5 今回 特別表彰	金浦漁港 水産物供給基盤機能保全事業 27-42027-K01工事	にかほ市 金浦港嶋	長田建設株式会社	長田 陽一	由利地域振興局
21	1	大竹地区 予防治山事業 RE1113A901工事	にかほ市 大竹	株式会社渡部機工	藤原 秀則	由利地域振興局
22	4	高屋敷地区 農地集積加速化基盤整備事業 05303-K01工事	大仙市 北檜岡	はりま建設株式会 社	播間 泰	仙北地域振興局
23	4	三条川原地区 農地集積加速化基盤整備事業 05602-K01工事	大仙市 北野目	株式会社小笠原組	小笠原 武男	仙北地域振興局
24	6	宮田地区 ため池等整備(河川対応)事業 00902-K01工事	仙北市 西木町西明寺	佐藤建設株式会社	田村 保	仙北地域振興局
25	10 今回 特別表彰	地方道路等整備事業 (神岡南外東由利線) I427-40工事	大仙市 南外下袋	秋田振興建設株式 会社	小原 将司郎	仙北地域振興局
26	6	地方街路交付金事業 (都市計画道路中央線) 27-27-SB74-20工事	横手市 本町	株式会社吉田建設	吉田 博行	平鹿地域振興局
27	はりま 4 寺沢 0	大曲養護学校せんぼく分校 建築工事	仙北市 角館町小館	はりま・寺沢 特定建設工事共同 企業体	播間 泰	平鹿地域振興局
28	9	中ノ台地区 予防治山事業 RH1113A180工事	湯沢市 皆瀬	株式会社宮原組	宮原 竜也	雄勝地域振興局
29	7	県単道路改築事業 (国道398号) I108-10工事	湯沢市 倉内	株式会社高嶋組	高嶋 伸夫	雄勝地域振興局
30	大曲施設 0 朝日水道 0	大曲養護学校せんぼく分校 機械設備工事	仙北市 角館町小館	大曲施設・朝日水 道 特定建設工事共同 企業体	伊藤 靖	教育庁
31	大館桂 0 保安 0	大館地区統合高校(仮称) 校舎棟(B工区)電気設備工事	大館市 片山町	大館桂・保安 特定建設工事共同 企業体	中田 直文	教育庁

※ 受賞回数は企業単独として受賞した回数で、共同企業体として受賞した回数は含まない


1 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単河川改良事業（米代川）27-0-K102-10工事		
施工地名	鹿角市十和田末広		
商号又は名称	株式会社柳沢建設	許可番号	05-001843
請 負 額	92,666,160 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 柳沢 義生		
監理技術者等	現場代理人 黒沢 靖規		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	千葉 和仁	監 督 員	高橋 寿春
工 期	平成27年9月18日～ 平成28年3月23日	完成年月日	平成28年3月23日
概 要	1) 施工延長 L=180.5m 2) 法面整形工 A=2,300m ² 3) コンクリートブロック工 A=1,428m ² 4) 排水構造物工 L=124m		
特 徴	1) 護岸工事に伴う濁水流出の抑制		
写 真			
			
着工前		完成	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・主に冬期間の作業となる現場においての厳しい作業環境に対する対応、また狭隘な現道を利用するなどのスムーズな運行の徹底を図った ・このような状況下での施工にもかかわらず精度の高い出来形、品質管理はもとより、作業事故の発生が無く現場を完了させた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事の施工時期が白鳥の飛来時期と重なったことから、自然環境に配慮しながらの施工となった このため、掘削作業により発生する濁水を直接河川へ流出しないよう地形を利用した沈砂地を設置する対策を実施した 使用する機械はオートアイドルストップ機能や待機時の燃料消費を低減する油圧システムの搭載により、排出ガス・消費燃料の抑制に努めた また、万が一の油流出に備え、油中和剤・油吸着マットを現場に常備した

2 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単河川改良事業（米代川）27-0-K104-10工事		
施工地名	鹿角市花輪		
商号又は名称	株式会社米村組	許可番号	05-008844
請 負 額	41,729,040 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 米村 茂		
監理技術者等	現場代理人 高瀬 博行		
発注公所	鹿角地域振興局（建設部）		
主任監督員	千葉 和仁	監 督 員	内藤 泰士
工 期	平成27年9月24日～ 平成28年3月23日	完成年月日	平成28年3月17日
概 要	1) 施工延長 L=150.0m 2) 低水護岸工 A=1,334m ² 3) 小口止 N=1箇所 4) 隔壁 N=2箇所		
特 徴	1) 水衝部における護岸工事 2) 河岸浸食による法線の変更		
写 真			
			
着工前		完成	

◆発注公所の推薦理由

- ・ 契約後に河岸が浸食され、当初設計図と現地に乖離が生じたことにより法線の変更を余儀なくされたため、現場着工が大幅にずれ込んだ
このような厳しい工程のなか、工期短縮のため仮締切計画の立案、日々の工程管理を綿密に行い、フォローアップを実施し工程の遅れを取り戻し、工期に余裕を持って完成させた
また、冬期工事という厳しい条件のなかでありながら、出来形管理・品質管理共に良好であった

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事は冬期工事のため張りブロックの施工に際し、基面が凍結した状態で施工することによる張りブロックの沈下が想定されるため、当日施工を予定する箇所については前日からダクトヒーターにて保温し、基面が凍結しないよう配慮した
- ・ 現場に隣接する道路は地域住民の生活道路であり、朝晩だけでなく日中も交通量が多く工事車両との事故も予想されたことから、地域住民に工事に関するチラシを配布し定期的に進捗状況をお知らせし事故防止に努めた

3 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単道路補修事業（杉沢上小阿仁線）27-G352-30工事		
施工地名	上小阿仁村南沢		
商号又は名称	宮原組・秋田土建・沢木組特定建設工事共同企業体		
請 負 額	100,727,280 円	工 種 ・ 格 付	法面 A級
代 表 者	株式会社宮原組 代表取締役 宮原 竜也		
許可番号	05-010808	監理技術者等	現場代理人 渡邊 憲幸
(構 成 員)	秋田土建株式会社 代表取締役 北林 一成		
(許可番号)	00-024461	(監理技術者等)	主任技術者 金 晋作
(構 成 員)	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
(許可番号)	05-005082	(監理技術者等)	主任技術者 関谷 洋史
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	船木 孝仁	監 督 員	沼田 哲務
工 期	平成27年8月7日～ 平成28年1月29日	完成年月日	平成28年1月15日
概 要	1) 施工延長 L=71.7m 2) 土工 V=2,780m ³ 3) 吹付法枠 L=1,927m 4) 植生基材吹付 A=1,150m ² 5) 雪崩予防凸型杭工 N=150基 6) グラウンドアンカー工 N=9本		
特 徴	1) NETIS登録の工法を採用し工期短縮、安全性向上を図った 2) 現場条件に適応した仮設計画の工夫により安全性向上を図った		
写 真			
			
セーフティークライマー工法 ハングドリル工法 完成			

◆発注公所の推薦理由

- ・法面上部の掘削、法面整形工においてNETIS登録のセーフティークライマー工法（機械無人化施工）を採用、鉄筋挿入工においてはハングドリル工法を採用し、無事故かつ工期短縮に努めた
- ・また、法面掘削後に転石が多数見られたことから、労働者及び道路利用者の安全確保のため落石対策の仮設工を実施した
- ・工程管理及び安全管理に優れ、出来形・品質も良好である

◆施工業者からのPR

- ・掘削工では人力掘削から機械施工に変更するなど、施工方法の改善を常に考え工期の短縮を図った
- ・法面上での安全作業を徹底するため、セーフティーブロックを使用したロープの完全2本使いを実施したほか、法面監視員を配置し、落下物による公衆災害の防止と不安全行動の監視強化に努めた
- ・長大法面上での掘削作業時に岩塊等を県道に落下させないため、施工に合致した落石対策を行い第三者災害防止を図った

4 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	能代松陽高等学校体育館棟建築工事		
施工地名	能代市緑町		
商号又は名称	中田・大高・高田・サンワ特定建設工事共同企業体		
請 負 額	999,000,000 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A級
代 表 者	中田建設株式会社 代表取締役社長 見上 重新		
許可番号	00-002898	監理技術者等	現場代理人 梅田 義信
(構 成 員)	大高建設株式会社 代表取締役 大高 慎司		
(許可番号)	05-000967	(監理技術者等)	主任技術者 阿部 幸悦
(構 成 員)	高田住宅工業株式会社 代表取締役 高田 金道		
(許可番号)	05-004423	(監理技術者等)	主任技術者 佐藤 重明
(構 成 員)	株式会社サンワ興建 代表取締役 佐藤 磨		
(許可番号)	05-010704	(監理技術者等)	主任技術者 吉田 俊一
発注公所	北秋田地域振興局 (建設部)		
主任監督員	小笠原 勝則	監 督 員	佐藤 明
工 期	平成25年7月5日～ 平成27年10月16日	完成年月日	平成27年10月16日
概 要	1) 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2階建て (延べ面積4,558.21m ²)		
特 徴	1) 鉄筋コンクリート造に一部PC梁を併用した複合構造建築物 2) 既存校舎棟を供用しながらの建築工事		
写 真			
			
体育館外観	第1アリーナ	武道場	

◆発注公所の推薦理由

- ・ 体育館棟は鉄筋コンクリート造と鉄骨小屋組、PC梁を組み合わせた複合構造の建築物である
- ・ 校舎棟が供用開始された状況下での工事であり、敷地や作業時間に制約があるなか、工程管理や品質管理を適正に行い、完成建築物は優れた出来映えとなった
- ・ 建設地が住宅密集地であるため、工事車両の通行時間を制限するなど、登下校時の安全対策に取り組んだ

◆施工業者からのPR

- ・ 第1アリーナ屋根鉄骨工事のL=33m、重量約9tのトラス吊り上げ作業に200tクレーンを採用し広範囲な作業半径を確保したことで、安全性の向上かつ工期短縮が実現できました
- ・ アリーナ大空間吹抜け部においては、躯体工事の足場・荷揚げステージが仕上げ工事用足場に転用できるように計画し、スムーズに次工程に移れるよう工夫しました
- ・ 約28カ月の長い工期でしたが、発注機関、設計・工事監理はじめ関係各位のご指導、ご協力で無事故で完成出来ました、有難うございました

5 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	大館地区統合高校（仮称）校舎棟（A工区）建築工事		
施工地名	大館市片山町		
商号又は名称	伊藤羽州・花岡・小板橋特定建設工事共同企業体		
請 負 額	737,640,000 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A級
代 表 者	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
許可番号	05-020143	監理技術者等	現場代理人 櫻庭 貢
(構 成 員)	花岡土建株式会社 代表取締役 鈴木 洸士		
(許可番号)	05-002129	(監理技術者等)	監理技術者 三政 孝太
(構 成 員)	株式会社小板橋建設 代表取締役社長 小板橋 広吉		
(許可番号)	00-008065	(監理技術者等)	主任技術者 中西 祐一
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小笠原 勝則	監 督 員	佐藤 明
工 期	平成26年7月15日～ 平成27年10月30日	完成年月日	平成27年10月30日
概 要	1) 鉄筋コンクリート造3階建て（延べ面積4,094.39㎡） 2) 大館市内にある3高等学校の統合校として、旧大館商業高等学校敷地に平成28年4月開校を目指し施工		
特 徴	1) 統合高校であるため、教育内容に応じた様々な用途・機能がある 2) 複数工区同時施工のなか、綿密な施工計画や工程管理を要する		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>校舎棟A工区外観</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>玄関ホール</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>普通教室</p> </div> </div>			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 校舎棟A工区は、管理部門と普通教室からなる建築物で、開校スケジュール上、躯体工事の冬期施工が必要であったが、冬期打設したコンクリートの養生及び温度管理を適切に行うなど、施工精度や品質確保の向上に努めた ・ 内装仕上げの秋田杉は赤身材と白身材を交互に配置するなど、完成建築物は優れた出来映えとなった ・ 住宅地に隣接した現場であり、道幅が狭く交通量の多い市道の利用が求められたことから、冬期間は自主的に除雪を行い、事故防止に努めた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕上げ工事の着手に先立ち実寸大の納りサンプルを作成し、仕上がり具合を各工種で共有することで出来映えを高めることが出来ました ・ 現場内での献血活動への協力や地域学生の現場見学などを通じて、社会貢献に努めました ・ 基礎工事の際は排ガス規制、低振動、低騒音対応の重機を使用、また防水工事においても臭気や煙の発生量を抑えた工法を提案し、地域の環境保全に努めました

6 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	能代松陽高等学校自転車置場建築工事		
施工地名	能代市緑町		
商号又は名称	田中建設株式会社	許可番号	05-009358
請 負 額	31,525,200 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 B級
代 表 者	代表取締役 田中 洋平		
監理技術者等	現場代理人 信太 宏一郎		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	小笠原 勝則	監 督 員	佐藤 明
工 期	平成27年9月1日～ 平成28年1月29日	完成年月日	平成28年1月15日
概 要	1) 木造平屋建て4棟（延べ面積264.00m ² ）		
特 徴	1) 錯綜する複数の関連工事があるなかでの建築工事		
写 真			
			
自転車置場外観	防錆剤塗布	木材含水率測定	

◆発注公所の推薦理由

- ・ 鉄筋への錆転化型防錆剤の自主的塗布や、木材接合部への保護剤の自主的塗布など、材料の品質向上に努めた
- ・ 木材含水率測定を構造部材の全数を対象として実施するなど、品質管理に努めた
- ・ 敷地内で同時期に進行する複数の関連工事と工程及び作業調整を行い、安全対策に努めると共に、早期に完成させている
- ・ 既存建築物や作業完了部分に養生を行い、破損や汚損防止に努め、完成建築物は優れた出来映えとなった

◆施工業者からのPR

- ・ 本工事では、より良い建築物をつくるため『品質向上』を目標とし、次のような対策を実施しました
- ・ 施工図の作成及び監督員との確認による施工精度の向上
- ・ 養生や温度管理、打設2日後の圧縮強度試験など初期段階におけるコンクリートの品質管理・仮囲い内部での施工による天候の変化に左右されない塗装作業環境の確保
- ・ 木材土台下面の防腐処理による完成後の維持管理コストの低減、など
- ・ 本受賞は監督員のご指導ならびに施工に携わった皆様のご協力のおかげであり、心より感謝申し上げます

7 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	岩館漁港 水産生産基盤整備事業 10127-K03工事		
施工地名	八峰町字岩館		
商号又は名称	大森建設株式会社	許可番号	00-024641
請 負 額	51,415,560 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 大森 三四郎		
監理技術者等	現場代理人 山本 良		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	佐藤 哲哉	監 督 員	高橋 真太郎
工 期	平成27年10月1日～ 平成28年3月16日	完成年月日	平成28年3月16日
概 要	1) 臨港道路 L=296.4m (舗装工 A=2,328m ²) 2) 護岸工 N=1式 (水叩工 L=220.4m)		
特 徴	1) 住宅地に近接している生活道路であり、騒音・振動、通行止が出来ないなど、施工上の制約の多い現場である 2) マンホールなどの地下埋設物が多く、また住宅への取付があるため、舗装の仕上がりには、緻密で高度な舗装技術が要求される道路である		
写 真			
			
着工前		完成	

◆発注公所の推薦理由

- ・ 地域住民の重要な生活道路であることから、交通車両への配慮や、ハタハタ漁期間の工事休止に協力するなど、地元住民との友好関係を築きながら工事を実施し、かつ出来形・品質についても優秀な成績であった
- また、上下水道のマンホールや住宅への取付が多く、設計と現場の整合が難しい工事であったが、緻密に路面の標高を設定し、高度な舗装技術でこれを実現させた
- ・ 地元住民のため情熱をもって困難に立ち向かっていこうとする現場代理人の姿勢は、尊敬に値し、他の模範となるものであった

◆施工業者からのPR

- ・ 「地域住民に優しい工事」をコンセプトに、生活への影響を最小限に抑えるための工夫を行いながら工事を実施しました
- 関係機関や地域住民の皆様の協力により、御陰様で苦情もなく、無事故で工事を完成することが出来ました
- ・ 舗装にあたっては、タイヤ付着抑制型乳剤を使用して、施工中の地元住民の車両の通行が可能なように配慮しました
- ・ 自動制御装置搭載型のアスファルトフィニッシャーを使用し、平坦性、表面の仕上がりの向上に努め、今までにない精度の舗装工事が出来ました

8 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	西山下地区 防災林造成事業 RC1103A021工事		
施工地名	能代市浅内		
商号又は名称	成田建設株式会社	許可番号	05-081298
請 負 額	87,799,680 円	工種・格付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 成田 保		
監理技術者等	監理技術者 長岡 剛也		
発注公所	山本地域振興局（農林部）		
主任監督員	森川 光彦	監 督 員	村上 雅美
工 期	平成27年3月26日～ 平成27年10月30日	完成年月日	平成27年9月10日
概 要	1) 防潮護岸工（嵩上げ）L=180m 2) 消波根固工（嵩上げ）L=160m		
特 徴	1) 最適な施工機械の選定により、大幅な工期短縮を図った 2) 仕様資材の品質向上対策を徹底した		
写 真			
			
完成状況（前面）		完成状況（背面）	
			施工状況

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は、強風・波浪に伴う海岸の浸食や飛砂防備保安林の潮害を防止するため、既設防潮護岸工及び消波根固工の嵩上げを行った工事である
- ・消波根固めブロックの据付作業では、高所運転席仕様のクレーンを使用し、作業の安全確保、据付ブロックの損傷の防止、据付作業効率の向上を図り、大幅に工期を短縮させた点が特に優れている
- ・また、使用資材の塩害対策として防錆処理や資材専用倉庫を設置するなど、徹底した品質管理、品質の向上を図った点も優れている

◆施工業者からのPR

- ・海岸工事という現場特有の作業条件を克服するため、消波根固ブロック据付作業時の安全管理の徹底や作業効率の向上を現場作業員全員が常に意識して工事を施工した結果、大幅な工期短縮を図ることが出来た
- ・また、使用資材の調達時期や保管方法、防錆対策などの品質向上対策も徹底し、完成した構造物の外観や長寿命化を意識して施工を行った
- ・この受賞を励みに今後も時代に対応した新たな技術の習得など、技術の研鑽と創意工夫に努め、地域社会に貢献していきたい

9 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路等整備事業（富根能代線）26-1407-20工事		
施工地名	能代市真壁地		
商号又は名称	斎藤建設株式会社	許可番号	05-000827
請 負 額	86,963,760 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役社長 斎藤 宗一郎		
監理技術者等	現場代理人 嶋津 命		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	鳴海 勝哉	監 督 員	加納 義之
工 期	平成27年6月25日～ 平成27年10月30日	完成年月日	平成27年10月28日
概 要	1) 施工延長 L=269.3m W=6.5(9.5)m 2) 路体盛土工 V=2,900m ³ 、路床盛土工 V=3,500m ³ 、 プレキャスト擁壁工 L=240m、側溝工 L=497m、 下層路盤工 A=3,410m ² （内FRC碎石 A=1,700m ² ）		
特 徴	1) 収用制度を導入した事業である 2) FRC（フライアッシュリサイクルコンクリート）を下層路盤材として使用した		
写 真			
			
完成			

◆発注公所の推薦理由

- ・ 収用制度を導入した事業であり、用地取得後は早急に供用開始を目指した工区であるが、無事故で工期内に完成させた
- ・ 毎月1回広報を発行するなど、積極的に地域住民とのコミュニケーションを図った結果、地域住民からの評判が良かった
- ・ 資源の循環的な利用や廃棄物の減量化のため、他事業に先駆けて積極的にFRCを下層路盤材として使用した
また、経過観察のため施工範囲にプラカードを設置した
- ・ 出来形・品質・工程管理の工夫（巻出し厚、RI計器による盛土管理）及び見やすい資料作成に努めた

◆施工業者からのPR

- ・ 安全連絡協議会長を努め合同パトロール、協議会新聞の発行、交通安全管理等を実施し工事安全に貢献したほか、外部機関の安全管理士による安全パトロールを実施するなど労働災害防止に努めました
- ・ 出来形管理において、全工種を対象に規格値±50%以内を社内管理値として設定し、社内検査員を配置して二重管理を行い、全工種で±50%以内に収めることができました

10 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	県単河川改良事業（藤琴川）27-K207-20工事		
施工地名	藤里町馬坂		
商号又は名称	有限会社伊藤組	許可番号	05-002626
請負額	66,954,600円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 伊藤 与四郎		
監理技術者等	現場代理人 佐藤 昇		
発注公所	山本地域振興局（建設部）		
主任監督員	北林 了以	監督員	加藤 広一
工期	平成27年12月15日～ 平成28年3月25日	完成年月日	平成28年3月25日
概要	1) 施工延長 L=85.6m 2) 護岸工（大型ブロック積） A=598m ²		
特徴	1) 出水時の対応 2) 地域へのPR		
写 真			
			
着工前 完成 出水時の状況			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 豪雨により、はん濫注意水位を超える出水があったが、出水に備え工程を先行し、ある程度の高さまで護岸工を施工しシートで養生した結果、護岸工の被災は無く仮締切のみの被災となり、被害は最小限にとどまった ・ 出水後直ちに工程のフォローアップを行い、綿密な工程管理のもと工期内に完成させた ・ 出来映え、出来形・品質も良好である ・ 近隣住民に工事の内容を記載した「工事だより」を定期的に配布し、地域に対して河川事業のPRを行った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 冬期施工及び工期が短いなか、大型コンクリートブロック積に使用する胴込コンクリートについては、小規模数量でありましたが打設日毎に品質確認を実施し、コンクリートの品質向上に努めました ・ また、本工事施工箇所は藤琴川の指定水位観測所の水位計が設置されており、河川の切り回しのため水位計を停止させていましたが、豪雨により河川が増水した際は、河川巡視及び水位観測を行い、その結果を30分毎に山本地域振興局建設部に報告し、藤琴川水防警報発令の判断材料といたしました

1 1 第 3 7 回 秋 田 県 優 良 工 事 表 彰 受 賞 工 事

◆工事概要			
工 事 名	能代港第 2 灰捨護岸建設事業（能代港外港地区）26-Z102-K3工事		
施 工 地 名	能代市河戸川		
商号又は名称	（株）沢木組・（株）伊藤羽州建設特定建設工事共同企業体		
請 負 額	494,165,880 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社沢木組 代表取締役 沢木 則明		
許 可 番 号	05-005082	監理技術者等	現場代理人 能登谷 孝介
（ 構 成 員 ）	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
（許 可 番 号）	05-020143	（監理技術者等）	主任技術者 菊池 雅史
発注公所	能代港湾事務所（建設部）		
主任監督員	村井 貴史	監 督 員	天野 徹
工 期	平成27年3月24日～ 平成27年11月30日	完成年月日	平成27年11月30日
概 要	1) 施工延長 L=149.5m 2) 基礎捨石工 V=10,964m ³ 3) ケーソン据付工 N=4函 4) 上部工 V=828m ³ 5) 消波工 N=180個		
特 徴	1) 外港部に新たに築造する構造物であるため、波浪・潮流の影響を直接受ける工事である		
写 真			
			
完成			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 昨年度実施工区内で、最も多工種を実施する工事であった ・ 護岸構造上、各工種の並行作業がほぼ困難な工程となり、1工種の遅れがそのまま全体工程の遅れとなるなかで、海底地盤の洗掘により捨石工約6,000m³（当初の2.4倍）の増工が必要となり作業量が大幅に増えたが、各種の提案・工夫により無事完成させた ・ さらに、その出来形、品質確保、安全管理も申し分無かった

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基礎捨石工の施工に当りGPS施工管理システム搭載の起重機船と位置誘導ソフトを搭載した潜水士船により情報化施工を行った結果、荒均し、本均しとも規格値の40%以内に収めることができ、工程も短縮することが出来た ・ 水中部の出来形確認方法を、潜水士に装着したビデオカメラと船上のモニターで確認する方法とする事で、測定値及び全体の出来映えをリアルタイムに確認する事を可能にした ・ 海上作業の短縮を図るため、上部工型枠を大型化し陸上組立を可能とする事で、工程の短縮、波浪による被害を防止した

12 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	平沢地区 農地集積加速化基盤整備事業 05003-K01工事		
施工地名	秋田市雄和平沢		
商号又は名称	株式会社沢木組	許可番号	05-005082
請 負 額	61,903,440 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 沢木 則明		
監理技術者等	現場代理人 加藤 秀幸		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	石井 源直	監 督 員	高橋 幸大
工 期	平成27年5月22日～ 平成28年1月20日	完成年月日	平成27年12月4日
概 要	1) 区画整理工 A=6.4ha		
特 徴	1) 近隣工区から不足の基盤土を運搬し、盛土整地を行った区画整理工事である 2) 精度の高い整地作業の実施		
写 真			
			
着工前		完成	
道路盛土の天端面整形 (レーザーレベル使用)			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 他工区からの運搬搬入土 (V=12,940m³) について、他工区受注者との連絡調整をすることにより、円滑に工事を進めることができた ・ 排土板を自動で制御する機能が搭載されたブルドーザを使用し精度の高い整地作業を行った ・ 盛土の天端面整形にレーザーレベルを使用したため、土工の仕上がりが優れていた ・ 厳しい工程のなかで、秋の転作時期に間に合うように整地作業を終えることができた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基面仕上げ前に地耐力を確認して仕上げを行ったことで、地耐力不足を回避しました ・ 工程を管理する上で重要な田面部の排水について、ブルドーザーに専用アタッチメントを取付け迅速に溝切りをし、又レーザーレベルと併用することで水勾配も確保できました ・ 天然ヤシ繊維で構成されたバイオログフィルターを使用して雄物川への濁水流出防止を図りました ・ 天候の良い時期に集中施工できるよう、重機の台数を増やし工程管理を行いました


13 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	穴堰地区 ため池等整備（用排水）事業 00503-K01工事		
施工地名	秋田市外旭川		
商号又は名称	岡精・加賀屋特定建設工事共同企業体		
請 負 額	194,109,480 円	工 種・格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社岡精組 代表取締役 岡部 茂		
許可番号	05-003844	監理技術者等	現場代理人 小林 裕也
(構 成 員)	株式会社加賀屋組 代表取締役社長 加賀屋 賢二		
(許可番号)	05-003457	(監理技術者等)	主任技術者 瀧澤 悟
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	村上 幸悦	監 督 員	澤井 充
工 期	平成27年7月31日～ 平成28年1月29日	完成年月日	平成28年1月29日
概 要	1) 水路トンネル工 L=188.85m 2) 接続水路工 L=40.29m		
特 徴	1) 老朽化した水路トンネルを泥水式推進工法φ1650により改修 2) 住宅地等、周辺環境に配慮した矢板打込工法の採用		
写 真			
			
掘削推進状況	トンネル残土排出状況 (泥水式推進工法)	矢板打設状況 (油圧式可変超高周波バイブロ)	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、水路トンネル改修工事で、泥水式推進工法を採用している ・到達立坑の鋼矢板打ち込みについて、周辺が住宅地であったため、当初設計のバイブロハンマーに変えて油圧式可変超高周波バイブロを採用し、振動・騒音に配慮し施工した ・仮設道路について、当初設計の敷鉄板+盛土に変えて仮設橋を使用し、工期の縮減が図られた ・綿密な施工計画に基づき、徹底した工程管理や安全管理等を実施しており、総じて、現場や施工管理資料の出来映えがよい

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・接続枅・取付工のレディーミクスコンクリートに剥落防止用・ひび割れ抑制用繊維を混合して生コンを打設しました ・推進ハイブリットモール工法において、掘進機遠隔操作室の操作盤・カメラモニターにて切羽の安定をはかり掘進位置・高さをコントロールし施工を進めました ・外旭川地区の旧穴堰トンネルは古くから歴史があり、今回の工事で新穴堰トンネルの施工を手がけることで地域貢献の一助を果たすことができました

14 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	一ノ目潟地区 ため池等整備（用排水）事業 00311-K01工事		
施工地名	男鹿市北浦		
商号又は名称	株式会社加藤組	許可番号	05-040733
請負額	114,477,840円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 加藤 義光		
監理技術者等	現場代理人 成田 義則		
発注公所	秋田地域振興局（農林部）		
主任監督員	畠山 将志	監督員	佐々木 貴大
工期	平成27年3月31日～ 平成28年2月5日	完成年月日	平成28年2月5日
概要	1) 水路トンネル覆工 L=301.6m 2) 付帯水路工 L=62.2m 3) 管理道路補修工 A=884.0m ³		
特徴	1) 徹底した安全管理 2) 水質浄化の取り組みによる環境への配慮		
写 真			
			
トンネル覆工中		管理用道路補修後	
			トンネル覆工後

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は、水路トンネルの覆工及び付帯水路の工事である
- ・工事の施工にあたってはトンネル坑内での作業があるため避難訓練の実施や構内電話の設置、酸素濃度や粉じん濃度の測定など徹底した安全対策を行った
- ・また、地元住民や県職員を対象とした現場見学会を実施するなど土木広報に積極的に取り組んだ
- ・施工場所の下流には鮭のふ化場があることから中和処理装置を用い、工事で発生した水による河川の水質汚染に注意して環境配慮に努めた

◆施工業者からのPR

- ・生コンを速やかに打設できるよう、到着時間を管理するとともに、プラント・生コン車・坑口・坑内と連絡を密にした
- ・狭くて急峻な仮設道路は一般の観光車両も通行する事から、敷鉄板で拡幅し交差場所を作り、注意喚起の看板を立てると共に、落ち葉などの清掃に努め安全な通行ができるよう努めた
- ・坑内にはカーブ区間があるため、覆工厚さを確保し通過できる最適なカーブセントルを検討し組み換えを行なった


15 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	秋田湾・雄物川流域下水道事業（湖東幹線）YA45-11工事		
施工地名	三種町川尻		
商号又は名称	伊藤羽州・成田特定建設工事共同企業体		
請 負 額	495,795,600 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	株式会社伊藤羽州建設 代表取締役 石山 清武		
許可番号	05-020143	監理技術者等	現場代理人 佐藤 陽介
(構 成 員)	成田建設株式会社 代表取締役 成田 保		
(許可番号)	05-081298	(監理技術者等)	主任技術者 清水 健士
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	白幡 俊和（全般） 小笠原 勝則（建築）	監 督 員	今野 正規（全般・土木） 山田 豊（全般・土木） 若狭 潤一（建築）
工 期	平成26年1月14日～ 平成27年10月30日	完成年月日	平成27年10月30日
概 要	1) 土木・建築工事 N=1式 2) 作業土工 N=1式 3) 本体躯体工（RC構造）N=1式 4) 基礎杭工 N=8本 5) 仮設工（地中連続壁工、地盤改良工）N=1式 6) 建築工事 建築面積 A=199m ² 、延べ床面積 A=577m ²		
特 徴	1) 新技術採用による発生泥土量の削減及び改良による再利用 2) 複数の工事業者が輻輳する厳しい現場条件での安全対策の工夫		
写 真			
			
完成（西側より）		完成（東側より）	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は湖東幹線における汚水量増加に伴う川尻中継ポンプ場の新設工事である ・施工箇所は軟弱地盤で地下水位が高い厳しい現場条件であったが、仮設工における地中連続壁工及び地盤改良工では新技術採用により、発生泥土の削減、作業工程の短縮を図った また、発生泥土については現場内において改良を行い、埋戻し材として再利用を行うなど、再資源化の新技術を採用し、環境配慮及びコスト削減を図っている ・複数の工事業者（土木・建築・機械・電気）が輻輳する厳しい現場条件において、当請負者が会長を務める安全連絡協議会を設立し、毎月定例会を実施して、業者間の連絡調整や現場内の安全管理の徹底を図ることで、円滑に工事を進捗させた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・場所打杭の施工前に、杭の打込不足又は支持地盤への未到達が生じないように、チェックボーリングにて柱状図を作製し設計図書との整合を確認したことにより、確実な施工ができました ・道路幅が狭く、現場周辺が田畑であるという現場条件を考慮した仮設計画及び安全対策を実施したことにより、円滑な工事の遂行にて無事故、無災害で竣工することができました ・本賞の受賞を励みに、今後も全社一丸となり、郷土を愛し地域に尽くして参ります

16 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道285号）27-HF16-10工事		
施工地名	五城目町中津又		
商号又は名称	秋田瀝青建設株式会社	許可番号	05-001353
請 負 額	45,153,720 円	工 種 ・ 格 付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役 齊藤 豊隆		
監理技術者等	現場代理人 中田 孝輔		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	樽田 太朗	監 督 員	梅井 靖彦
工 期	平成27年6月5日～ 平成27年10月30日	完成年月日	平成27年10月30日
概 要	1) 大台トンネル L=239m 2) 路側排水工 L=470m 3) コンクリート舗装工 L=1,690m ² 4) 側帯工 N=1式		
特 徴	1) 横収縮目地に三角材を配置し、ひび割れ誘発措置を行った 2) 散水養生中に乾燥と湿潤状態が目視で分かる養生マットを使用		
写 真			
			
横収縮目地に三角材を配置		養生状態の可視化	
			平坦性の確保

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・材料をダンプトラックで運搬するため、コンクリートは運搬時間を考慮した配合とした ・横収縮目地にも三角材を配置し、ひび割れ誘発措置を行った ・散水養生中に乾燥と湿潤状態が目視で分かる養生マットを使用した ・最大8社が同時施工となったため、安全連絡協議会を週一回開催し、他工事との連携を密に行った

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・コンクリート舗装の乾燥ひび割れ、目地設置箇所以外へのひび割れ発生防止のため、プライムコート施工、初期養生材や養生マット等を精査して選定した ・目地部分は縦目地だけではなく横収縮目地にも三角材を配置し、予定箇所へのひび割れ誘発措置を行った ・排水構造物の基準高を精査し施工したことで、1.2mm未満の平坦性を確保した

17 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方道路交付金事業（国道285号）27-HF16-40工事		
施工地名	五城目町中津又		
商号又は名称	秋田舗道株式会社	許可番号	05-001796
請 負 額	65,969,640 円	工種・格付	ほ装 A級
代 表 者	代表取締役社長 青池 宏志		
監理技術者等	現場代理人 柏谷 直人		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任監督員	樽田 太朗	監督員	梅井 靖彦
工 期	平成27年6月26日～ 平成27年11月30日	完成年月日	平成27年11月30日
概 要	1) 施工延長 L=472.51m W=6.5(9.5)m 2) 土工 N=1式 3) 排水構造物工 L=456m 4) 舗装工（本線・交差点・取付）A=5,605m ² 5) 橋面防水工 A=193m ² 6) 踏掛版工 N=2基 7) 伸縮装置工 L=20m 8) 防護柵工 L=618m		
特 徴	1) 作業中の接触事故を防ぐため、タイヤローラー後方にガードセンサーを設置 2) 可視化コンクリート養生マットの使用による散水作業の省力化や養生不足の解消		
写 真			
			
ガードセンサー		可視化コンクリート養生マット	




◆発注公所の推薦理由

- ・狭隘部へアスファルト混合物を運搬する際、大型ダンプから小型ダンプへの「積替え台座」を使用し、品質低下の抑制及び省力化を行った
- ・コンクリート構造物の湿潤養生時に「可視化コンクリート養生マット」を使用することにより、散水作業の省力化及び養生不足を解消した

◆施工業者からのPR

- ・現道擦り付け区間が長いため、周辺への負担を考慮し、保安設備はソーラー機器や流動・同期点滅機器を使用して、省エネ静穏化と夜間の視線誘導を確保しました
- ・道路縦横断計測システムROPO・電子レベルを使用することで、省力化と人為的な計測ミスや路上接触事故を防ぎ、施工精度と安全の両側面を確保しました
- ・現道部のCBR値を調査し、変更構造提案する事でコスト削減と工事日数短縮を行いました
- ・本受賞にあたりご指導、ご支援頂きました各位に厚く御礼申し上げますと共に、これを励みにより一層の地域社会貢献に努めて参ります

18 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	統合補助改修事業（臨港道路埋立幹線）26-PC12-10工事		
施工地名	男鹿市船川港船川		
商号又は名称	株式会社加藤建設	許可番号	05-002392
請 負 額	97,229,160 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 加藤 正己		
監理技術者等	現場代理人 船木 幸広		
発注公所	船川港湾事務所（建設部）		
主任監督員	佐藤 均	監 督 員	米澤 真一
工 期	平成27年7月31日～ 平成28年3月25日	完成年月日	平成28年3月25日
概 要	1) 橋長 L=28.0m 2) 有効幅員 W=16.2m 3) 主桁断面修復・増厚工 N=1式 4) 伸縮継手工 L=16.2m 5) 地覆工 N=1式 6) 舗装工 A=223m ²		
特 徴	1) 塩害を受けた橋梁上部工の断面修復及びB活荷重対応補強 2) ICT（情報通信技術）を用いた情報化施工		
写 真			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ICT(情報通信技術)を用いた情報化施工</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>クラウドサービスを用いた冬期養生管理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>断面修復材吹付け状況</p> </div> </div>			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 3次元設計データを用いた計測及び誘導システムを活用することにより、工事の高精度化・迅速化・省人化について積極的に取り組んだ ・ モルタルの冬期養生において、クラウドサービスを用いて温度管理状況を随時監視することにより、省人化を図ると共に良好な品質が確保された ・ 自主的に地覆目地間隔を短く（10m→5m）することにより、乾燥収縮によるひび割れ防止に努めた ・ 現場周辺は高齢者が多いため、率先して除雪や除草を実施するなど地域貢献活動を積極的に実施している

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT技術（情報化施工）を積極的に採用することにより、高精度・迅速化・省人化を達成することができました ・ 冬期の日本海近傍での立地条件の厳しい現場環境において、様々な創意工夫により品質確保に努めました ・ 今後も技術力向上のための研鑽を重ね、地域社会に貢献できるように努めます

19 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	畑野地区 農業水利施設活用小水力発電施設整備事業 27-00102-K01工事		
施工地名	にかほ市大竹		
商号又は名称	三共株式会社	許可番号	00-024529
請負額	64,919,880 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 安倍 秋一		
監理技術者等	現場代理人 加賀屋 誠志		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	西方 公成	監督員	田中 裕太郎
工期	平成27年7月6日～ 平成28年3月25日	完成年月日	平成28年3月25日
概要	1) 水圧管路工 L=698m		
特徴	1) 関連工事との調整や施工区域が限定される条件下での水圧管理設 工事 2) 県内初の農業水利施設を活用した小水力（マイクロ）発電の導水 工事		
写 真			
			
完成		発電看板の設置	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 狭小な施工箇所や多数の転石に加え勾配が急な厳しい現場条件であったが、施工箇所を有効に活用した仮設や様々なブレイカーを常備した転石対策を行い、余裕のある工程管理に努めた その結果、工程の調整が必要となる別発注の小水力発電施設設置工事と円滑な調整が図られた ・ 計画的な発電を実施するために、精度が高い施工が求められる中で、コンクリートテスターの活用、自社製管引き寄せ機器の活用等の創意工夫により、正確かつ迅速に工事を完了することが出来た ・ 施設を管理する土地改良区の維持管理作業を容易にするため、自主施工により盛土法面へ防草板を設置するなど、地域への高い貢献が見られる

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工後の維持管理を考慮して防草板の設置、転落防止柵の塗装及び発電施設の階段設置を行った ・ 限られた現場条件の中で最善の工事を行うために、施工機械の選定や仮設計画に工夫を凝らした ・ 掘削時に発生した多数の転石については、現場に隣接する土地所有者と調整を図って置き場を確保し、事業費の低減に努めた

20 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	金浦漁港 水産物供給基盤機能保全事業 27-42027-K01工事		
施工地名	にかほ市金浦港嶋		
商号又は名称	長田建設株式会社	許可番号	05-000823
請 負 額	54,700,920 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	取締役社長 長田 陽一		
監理技術者等	現場代理人 小松 和典		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	川村 慎吾	監 督 員	中村 寿喜
工 期	平成27年8月10日～ 平成28年2月10日	完成年月日	平成28年2月10日
概 要	1) -2.0m物揚場 N=1式 本體工 L=61.1m 上部工 L=100.2m		
特 徴	1) 垂直にコンクリートを腹付することで、漁船係留と作業場所の利便性が向上 2) 漁船の係留や航行が頻繁に行われるため、漁業関係者との調整が必要		
写 真			
			
着工前		完成	



◆発注公所の推薦理由

- ・ 本工事は、老朽化した物揚場（漁船を係留し漁獲物を陸揚げする施設）を改良するものである
- ・ 漁業者に対する工事説明会の実施、定期的な工事チラシの配布、作業予定表などの掲示など、関係者との良好なコミュニケーションにより漁業活動に支障なく工事を完成させた
- ・ 既設係船柱の再設置の際、錆止め塗装を施すことで、今後の維持管理コストの低減に努めた
また、漁業者からの要望に応え、係船環の設置により漁船係留における利便性向上に寄与した

◆施工業者からのPR

- ・ 水中コンクリート打設時や機械からの油漏れによる周辺環境への影響を考慮し、汚濁防止膜を設置した
- ・ エプロン舗装において、冬期の凍害防止と品質低下防止のため、硬化促進剤入りコンクリートを使用した
- ・ エプロン工裏込材の締固めを適正に管理するため、現場密度試験を自主的に行い、品質の向上に努めた

2 1 第 3 7 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	大竹地区 予防治山事業 RE1113A901工事		
施工地名	にかほ市大竹		
商号又は名称	株式会社渡部機工	許可番号	05-060205
請 負 額	34,676,640 円	工種・格付	法面 A級
代 表 者	代表取締役 藤原 秀則		
監理技術者等	現場代理人 小野 正樹		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任監督員	小坂 琢也	監 督 員	小野 圭
工 期	平成27年8月31日～ 平成28年3月25日	完成年月日	平成28年3月18日
概 要	1) 法切工 V=802m ³ 2) 法枠工 A=939.0m ²		
特 徴	1) 人家が隣接している山腹斜面での法面工事である 2) 斜面には多数の転石が点在している		
写 真			
			
着工前		完成	

◆発注公所の推薦理由

- ・ 施工地が人家と隣接しており、非常に作業スペースが限られた中での法面工事であったが、地域住民とのトラブルも無く、出来映えも良好であった
- ・ 斜面には巨大な転石も混じっていたが、人力による丁寧な作業により、きれいに除去されていた
- ・ 仮設防護柵を工夫することにより作業中の安全を確保するとともに、狭い作業スペースでの機械施工を可能とし、コスト縮減が図られた
- ・ 法枠工の施工において、固定力の強いアンカーピンを使用したり、法枠の垂れ下がり防止するためのアンカーピンを増やすなど、随所に品質を確保するための工夫がなされていた

◆施工業者からのPR

- ・ 施工地が人家と接していたため、人家に被害を与えないように細心の注意を払うとともに、住民とのコミュニケーションを積極的に行い、事故やトラブルも無く完成することが出来ました
- ・ 出来形や品質をより良いものとするため、現場の土質条件に適合した使用材料の工夫と施工方法の検討を行った結果、県の出来形管理基準よりも厳しい社内規格値50%以内に概ね収めることが出来ました
- ・ 今後も、「人のためになる仕事」を常に念頭に置き、地域社会に貢献できるよう品質管理及び施工技術の研鑽に努めて参りたいと思います

22 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	高屋敷地区 農地集積加速化基盤整備事業 05303-K01工事		
施工地名	大仙市北楯岡		
商号又は名称	はりま建設株式会社	許可番号	00-009802
請負額	94,102,560円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 播間 泰		
監理技術者等	現場代理人 富岡 良司		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	安藤 幸弥	監督員	越後屋 光輝
工期	平成27年5月22日～ 平成27年12月18日	完成年月日	平成27年12月4日
概要	1) 整地工 A=12.6ha 2) 用排水路工 L=2,732m 3) 道路工 L=2,014m		
特徴	1) 圃場全体が軟弱地盤である 2) 圃場の周囲が沼と天井用水路に囲まれており水はけが悪い		
写 真			
			
着工前 軟弱地盤 完成			

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・「長沼」を訪れる釣り人や散策者の安全を図るため歩道沿いに安全ロープを張るなど、安全対策が十分であったほか、一般住民の苦情もなかった ・大曲工業高校生の受け入れ（インターンシップ）で測量体験を行ったり、地元子供会が行っている稚魚放流の手伝いなど、地域住民との交流にも積極的であった ・国道13号沿いに設置した現場事務所の隣には、イラストで大きなイメージアップ看板（縦1.8m×横3.6m）を設け、事業啓発に努めた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・施工前に全施工範囲についてコンペネによる地耐力調査を行い軟弱地盤の状況を把握した ・軟弱な圃場なので、通常の圃場より湧水処理と溝切間隔を狭くし乾燥促進を図った ・整地時のこね返しを少なくするため、接地圧の小さいD20（4t）のブルドーザーで施工した ・排水路の挫屈防止のため切梁を全線設置し、埋戻し土が乾燥し土圧が軽減するまで継続した ・用排水路はスラグ入りの二次製品を使用し、取水・排水に使用する塩ビ管はリサイクル製品を使用した ・地域住民の皆様、長沼に来られた皆様とのコミュニケーションを円滑に図ることができ、工事に対する理解や認識を強くしていただいた

23 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	三条川原地区 農地集積加速化基盤整備事業 05602-K01工事		
施工地名	大仙市北野目		
商号又は名称	株式会社小笠原組	許可番号	05-060314
請負額	69,131,880 円	工種・格付	一般土木 A級
代表者	代表取締役 小笠原 武男		
監理技術者等	現場代理人 加藤 誠		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	堀野 敏孝	監督員	安藤 幸弥
工期	平成27年5月22日～ 平成27年12月18日	完成年月日	平成27年11月25日
概要	1) 整地工 A=7.9ha 2) 用水路工 L=1,331m 3) 排水路工 L=1,144m 4) 道路工 L=1,464m		
特徴	1) 整地工における品質向上のための取組 2) 用水路工の目地破損防止を考慮した長寿命化対策		
写 真			
			
矢板による仕上げ状況		長寿命化対策	
			完成

◆発注公所の推薦理由

- ・排水の流末処理について、野中排水樋門川裏柵にある既設構造物との取り付けであったが設計照査の中で現場との高さ関係の齟齬を早急に見つけ出し、その解決策に向けた迅速な提案と対応がとれていたため、河川管理者との協議を円滑に進めることができた
- ・交通量の多い一級市道刈和野南線（旧国道13号）と支線農道との取り付け工事について、事前に現場状況に応じた測量、設計が自主的に行われ、道路管理者との協議を円滑に進めることができた
- ・工事工程におけるフットワークがよく、予定工期より20日ほど早く完了できた

◆施工業者からのPR

- ・基盤整地、表土荒整地において、均平精度確保のためオートレーザーを使用して施工を行い、尚かつ最終段階において矢板を使用し仕上げ面の出来映えの確保に努めました
- ・用水路工において、20mに1箇所の割合で膨張、収縮による、目地破損を防止するため、シール材を用いて伸縮目地を施工し、コンクリート二次製品の長寿命化に努めました
- ・工事期間中、毎日のように工事の進捗を見守ってこられた受益者に対し、安心・信頼・満足を感じていただけるほ場整備工事を目指し施工をしてきましたが、その結果、トラブルもなく無事に工事を終了することが出来ました
これも関係者、皆様のご理解、ご協力のおかげと感謝しております

24 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	宮田地区 ため池等整備（河川対応）事業 00902-K01工事		
施工地名	仙北市西木町西明寺		
商号又は名称	佐藤建設株式会社	許可番号	05-002576
請 負 額	99,000,000 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 田村 保		
監理技術者等	現場代理人 藤田 義美		
発注公所	仙北地域振興局（農林部）		
主任監督員	鎌田 君省	監 督 員	近藤 広貴
工 期	平成27年11月20日～ 平成28年3月22日	完成年月日	平成28年3月22日
概 要	1) 頭首工堤体補修工 N=1式・堰柱補修工 N=1式・護岸工 N=1式 2) 仮設工 L=342.5m		
特 徴	1) 頭首工水叩き部全面及び堰柱一部損傷箇所のコンクリート打換えの施工（t=20cm） 2) 仮設工に使用する土砂は、河川上流及び下流から掘削運搬し、撤去後は運搬埋戻整正した		
写 真			
			
施工中		水叩き部補修完了	
			完成

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は、桧木内川を半川締切して頭首工水叩き部の補修を行う工事であり、河川水位が下がらないと施工が困難であるが、昨年度は12月の積雪が少なく、例年に比較して河川水位が下がらなかった
このため、工事の進捗及び完成の遅れが懸念されたが、適切な工程・品質管理や作業効率を向上させるための仮設屋根の設置により完成を早めることができた
- ・宮田堰頭首工は冬期間も維持管理用水として取水しているが、仮締切施行中は取水不能となるそこで、水中ポンプにより最低限の水を用水路に供給したことにより、苦情やトラブルなく工事を終えた

◆施工業者からのPR

- ・頭首工の補修面積がA=601.4m²でスパン割が15箇所あるため、仮設材（ペコガーター）を採用して1回当たりの養生施設A=528m²を確保し、さらに室内の各スパンごとにシートにて区割りをを行い、養生温度を高くなるようにして品質の確保に努めた
- ・仮設道路に使用する大型土嚢の作成が695個あり、施工効率及び安全性を考慮してNETIS登録製品（瞬作）を使用したことで施工日数を短縮した
- ・作業箇所が養生施設内のため、上流側に水位観測棒を設置して増水時の災害防止に対応できるよう管理者との連絡体制を配備したほか、避難訓練等安全管理を徹底して行ったことで、無事故無災害で工事を終了することができた

25 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工事名	地方道路等整備事業（神岡南外東由利線）1427-40工事		
施工地名	大仙市南外下袋		
商号又は名称	秋田振興建設株式会社	許可番号	05-000250
請負額	63,986,760円	工種・格付	ほ装 A級
代表者	代表取締役 小原 将司郎		
監理技術者等	現場代理人 加藤 禎浩		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任監督員	神田 誠	監督員	佐々木 峻
工期	平成27年8月10日～ 平成27年11月30日	完成年月日	平成27年11月30日
概要	1) 施工延長 L=314.0m、幅員 W=6.0(14.0)m 2) 舗装工 A=4,890m ² 、防護柵工 L=75m、大型標識工 N=1式		
特徴	1) 交通量の多い国道工事における安全対策の徹底 2) 別途発注改良工事との工程・施工調整		
写 真			
			
完成	高輝度看板と回転灯の 併用による注意喚起	電光掲示板と簡易式体感 マットの併用による注意喚起	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は、大仙市（旧南外村）における（主）神岡南外東由利線のバイパス事業に伴い必要な国道105号との新交差点の舗装工事である 交通量が多く、施工にあたっては道路交通への配慮が特に必要とされたため、施工期間中は通行車両及び作業員の安全確保のための対策に努めたことにより、第三者からの苦情やトラブルもなく無事故で工事を完成させた ・他者が施工している改良工事との同時施工で工期に限られるなか、舗装版取り壊し作業に路面切削機を使用し工期短縮を図るなど、改良工事と緻密な工程調整の結果、降雪期前までに完成させた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・本工事は国道105号の現道上の工事であり、工事期間中、起終点に最大で17cmの段差が生じたため、特に夜間走行車両（大型）等の段差部通行時に起こる振動及び騒音防止を目的に、電光掲示板および500、300、200、100m前と直前の10m手前に「段差有り」の高輝度看板を設置し、通行車両に徐行を促した これにより第三者からの苦情や交通事故等も無く、無事故で工事を完成することができた ・表層工においてはアスファルト合材改質Ⅱ型の舗設時期が11月であり、完成時の品質を長期間保つためにはアスファルト合材の温度管理が最重要と考え、弊社配合試験担当者と打合せを行い、出荷中止温度、返品基準温度、初期転圧前目標温度を決定した 運搬時には保温シートの使用、現場とプラント間での連絡を密にし、待機時間の短縮を図った

26 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	地方街路交付金事業（都市計画道路中央線）27-27-SB74-20工事		
施工地名	横手市本町		
商号又は名称	株式会社吉田建設	許可番号	05-002514
請 負 額	97,583,400 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 吉田 博行		
監理技術者等	現場代理人 和泉 謙太郎		
発注公所	平鹿地域振興局（建設部）		
主任監督員	遠藤 秀樹	監 督 員	高橋 勝喜
工 期	平成27年6月26日～ 平成28年3月28日	完成年月日	平成28年3月28日
概 要	1) 施工延長 L=240m、路床安定処理工 A=2,260m ² 、L型側溝 L=362m 2) 流雪溝 L=440m、アスファルト舗装(車道) A=2,422m ² 、(歩道) A=725m ²		
特 徴	1) 住家密集地内の施工における環境対策（振動対策等）の工夫 2) 工事安全連絡協議会への参画及び安全確保、イメージアップ活動		
写 真			
			
路床改良施工状況		大型路面ヒーター使用	
完成写真 (No. 16～)			

◆発注公所の推薦理由

- ・本工事は住宅密集地を貫く街路工事であり、工事期間中における地元住民の生活環境悪化が懸念された
受注者はその環境条件を理解し、騒音・振動が発生しやすい工種を対象に現場内において騒音・振動計による観測を実施した
横手市で定めている騒音・振動規制基準と照らし合わせ、基準超過になった場合は機種変更するなど配慮を行った結果、地元住民からの苦情は一切無かった
- ・本工事の実施にあたっては、関連工事（下水道・上水道・電力・NTT・交通信号機・交差点照明）との工程調整や安全対策が必須であった
受注者は工事安全連絡協議会に参画し積極的に連絡調整を実施したほか、イメージアップとしてPR等看板の設置や工事新聞の発行・配布に努め、地元との良好な関係を築いた

◆施工業者からのPR

- ・品質管理の徹底を目的とし、現場事務所内に乾燥炉を常備し、現場密度試験を容易に行える環境を整え、通常よりも多い頻度で密度試験を行い品質確保に努めると共に、路床安定処理工では通常の現場CBR試験のほか、改良端部もキャスポルを使用しCBR値の管理を行った
- ・大型の路面ヒーターを使用し、下層路盤内への積雪混入の防止、含水比の調整を行い、下層路盤の品質を確保した
- ・冬期間においては、工区内のご老人の一人暮らし家屋やバス停の除雪など地域貢献活動を行ったほか、2月のかまくら祭りの際にはミニかまくらを製作し、地元住民との交流を図った

27 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	大曲養護学校せんぼく分校建築工事		
施工地名	仙北市角館町小館		
商号又は名称	はりま・寺沢特定建設工事共同企業体		
請 負 額	362,438,280 円	工 種 ・ 格 付	建築一式 A級
代 表 者	はりま建設株式会社 代表取締役 播間 泰		
許可番号	00-009802	監理技術者等	現場代理人 田口 敦
(構 成 員)	株式会社寺沢工務店 代表取締役 寺澤 喬		
(許可番号)	05-001186	(監理技術者等)	主任技術者 藤原 和利
発注公所	平鹿地域振興局 (建設部)		
主任監督員	佐藤 和則	監 督 員	備前 賀成
工 期	平成27年4月10日～ 平成28年2月26日	完成年月日	平成28年2月26日
概 要	1) 木造一部鉄骨造 2階建て 建築面積 A=1,488.21m ² 延べ面積 A=1,702.62m ²		
特 徴	1) 角館という観光地、併設に高等学校という特色のある立地環境 2) 内外装にふんだんに県産木材を使用、積雪対策としての雁木設置		
写 真			
			
内外装にふんだんに県産木材を使用			

◆発注公所の推薦理由

- ・ 現場条件に適応した工事計画 (仮設計画の協議と創意工夫、合同安全協議会の設立、合同パトロール・合同朝礼)
- ・ 地域貢献に関する取組 (清掃活動、作業内容の掲示による注意喚起、自動販売機の売上収益を寄付)
- ・ 維持管理に対する創意工夫 (雪囲いの仕様工夫、仕上材の備品納入及び維持管理説明書の作成)
- ・ 学校教育への貢献 (生徒の現場見学会や職業体験を企画)

◆施工業者からのPR

- ・ 品質向上への探求心 … 常に品質の向上を求め、設計や施主様から要求される以上の物をご提案し、施工方法を工夫するなどして品質向上に努めました
当現場では『仕口の金物工法』や『耐火材、準耐火材の使用法』などをご提案し採用して頂き、より強固な建物になりました
- ・ 安全作業への徹底 … 『きれいな現場には事故は無し!』を合言葉に、常に現場の整理整頓を徹底してきれいな作業環境を維持する事で安全意識も向上した上、より作業性も高まり無事故で竣工を迎える事が出来ました

28 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	中ノ台地区 予防治山事業 RH1113A180工事		
施工地名	湯沢市皆瀬		
商号又は名称	株式会社宮原組	許可番号	05-010808
請 負 額	40,616,640 円	工 種 ・ 格 付	法面 A級
代 表 者	代表取締役 宮原 竜也		
監理技術者等	現場代理人 千葉 孝史		
発注公所	雄勝地域振興局（農林部）		
主任監督員	藤本 一広	監 督 員	武石 直久
工 期	平成26年9月19日～ 平成27年8月31日	完成年月日	平成27年6月16日
概 要	1) 山腹工 A=0.09ha（コンクリート土留工 L=66.0m H=3.0m、 法枠工 A=902.5m ² 、伏工 A=235.8m ² 、植栽工）		
特 徴	1) 狭隘な生活道路及び河川に隣接し、地域住民との綿密な調整が必要 な山腹工事		
写 真			
			
完 成		湧水処理	
			安全管理

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 土留工施工地は、重機搬入が困難な場所であったが、施工時期を農閑期に調整し隣接の土地使用承諾を得るなど、地元との円滑な調整に努めている ・ 山腹斜面に湧水箇所が確認されるなど、予期しない状況においても適切な工法を発注者に提案し、良好な出来映えや品質管理に取り組んでいる ・ 施工地に隣接する市道は狭隘であったが、地域住民や公共交通機関と綿密に連絡調整することで地域からの苦情は1件もなく完成させた

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工箇所が市道法肩から下方の斜面にあたるため、市道を部分的に占有しながらの作業でしたが、地域住民や公共交通機関と綿密な連絡調整を行い、事故の防止に力を入れました ・ 当初想定していなかった湧水が数箇所確認され、適切な湧水処理を行いながら、法面の安定化を図りました ・ 重力式擁壁の施工において、前面側の型枠面に「透水性型枠用シート」を使用してコンクリートの美観と耐久性を向上させたほか、擁壁前面の型枠浮き上がり防止方法を改善し、溶接作業を省力化することで工程を短縮しました

29 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	県単道路改築事業（国道398号）I108-10工事		
施工地名	湯沢市倉内		
商号又は名称	株式会社高嶋組	許可番号	05-002677
請 負 額	35,515,800 円	工 種 ・ 格 付	一般土木 A級
代 表 者	代表取締役 高嶋 伸夫		
監理技術者等	現場代理人 藤谷 利光		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任監督員	阿部 透	監 督 員	三浦 俊明
工 期	平成26年9月4日～ 平成27年9月30日	完成年月日	平成27年8月27日
概 要	1) 施工延長 L=165.8m 2) 歩道幅員 W=1.52～3.25m 3) 土工 N=1式 4) 排水構造物工 L=321m 5) 舗装工 N=1式 6) 道路付属物工 N=1式		
特 徴	1) 歩道設置及び水路敷を活用した歩行者空間の設置 2) 24時間交通量が約1万台、商業施設の出入りなどきめ細かな安全対応が必要		
写 真			
			
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> 着工前 完成 人力施工状況 </div>			

◆発注公所の推薦理由

- ・当工事は、国道398号への歩道設置工事であり、約1万台/日の交通量、沿線に商業施設の出入口が連続しているなど、きめ細やかな交通の安全対策が必要であった
このため、現場周辺の商業施設や住家への丁寧な工事内容の説明や、工事箇所へのわかりやすい立ち入り防止設備の設置による安全性の向上のほか、人力施工等により交通規制（冬期間の片側交互通行）期間を短縮した

◆施工業者からのPR

- ・湯沢市街地の幹線道路での工事であり、施工による交通渋滞が予想されたため、工種の内容によって作業時間を検討し店舗閉店後に作業を行うなど対応したことで、交通渋滞の発生はありませんでした
- ・湯沢・羽後には有名なお祭りがあることから、夏・冬と季節に応じたおもてなし看板を作成し、地域やお祭りのPRを行いました
- ・降雪の影響により片側規制の交通では限界が訪れたため、車線規制を解除し、可変側溝を人力で布設するなどの多様な創意工夫を実行しながら対応しました
その結果、関係者からのクレームもなく完成することができました

30 第37回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	大曲養護学校せんぼく分校機械設備工事		
施工地名	仙北市角館町小館		
商号又は名称	大曲施設・朝日水道特定建設工事共同企業体		
請 負 額	117,740,520 円	工 種 ・ 格 付	給排水暖冷房衛生設備 A級
代 表 者	大曲施設工業株式会社 代表取締役 伊藤 靖		
許可番号	05-002042	監理技術者等	現場代理人 中嶋 清美
(構 成 員)	株式会社朝日水道工業所 代表取締役 遠田 博士		
(許可番号)	05-001640	(監理技術者等)	主任技術者 大信田 祐紀
発注公所	営繕課 (建設部)		
主任監督員	児玉 貢	監 督 員	佐藤 守
工 期	平成27年4月17日～ 平成28年2月26日	完成年月日	平成28年2月26日
概 要	1) 木造2階建(延べ面積1,663m ²)である特別支援学校新築における機械設備工事 2) 工事内容: 暖冷房設備、換気設備、給排水衛生設備、昇降機設備等		
特 徴	1) 特別支援学校の学習環境に配慮しエアコンによる冷暖房設備を設置、衛生器具もバリアフリーに対応している 2) 窓際にエアコンの吹き出し口を設けることによって室温の均一性を配慮している		
写 真			
			
エアコン室内機	エアコン吹き出し口	エアコン室外機	

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ 木造である特別支援学校の特殊性を十分に理解し、衛生器具の配置や高さの適正配置及び冷暖房時に室内の均一な温度分布となるよう、きめ細やかに利用者に配慮した施工が優れている ・ 豪雪地域であることを配慮し、エアコン室外機周りの配管の積雪落雪による破損のリスクを避けるため、配管経路の最適化や鋼製架台及びカバーで覆う等の配慮がなされている ・ 梁やダクトが錯綜する天井の機器について、吹出口の寸法や風量を現場状況に合わせて配置し、居室内の冷暖房の空気の流れを良好なものにしている

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・ 木造建物の配管吊り方法を、インサートやあと施工アンカーと同等の能力が出せるよう検討し、施工要領を作業員に熟知させて施工した ・ エアコン室外機周りの配管が雪により破損しないよう、架台の形状、配管ルート、配管カバー等に対策を施し、1m程の積雪でも配管が埋まらない様にした ・ 3D機能付きのCADを使用し、梁、柱、筋交、間柱等との干渉が無い様、施工図を作成した

3 1 第 3 7 回 秋田県優良工事表彰 受賞工事

◆工事概要			
工 事 名	大館地区統合高校（仮称）校舎棟（B工区）電気設備工事		
施工地名	大館市片山町		
商号又は名称	大館桂・保安特定建設工事共同企業体		
請 負 額	104,976,000 円	工 種・格 付	電 気 A 級
代 表 者	大館桂工業株式会社 代表取締役 中田 直文		
許可番号	00-001918	監理技術者等	現場代理人 斉藤 義成
(構 成 員)	有限会社保安産業 代表取締役 三浦 孝子		
(許可番号)	05-011347	(監理技術者等)	主任技術者 佐々木 啓之
発注公所	営繕課（建設部）		
主任監督員	近野 一彦	監 督 員	渡邊 雅輝
工 期	平成26年7月18日～ 平成27年12月18日	完成年月日	平成27年12月10日
概 要	1) 校舎棟（RC造4階建 延べ面積6,155m ² ）他における電気設備工事（幹線設備、動力設備、電灯設備、照明器具設備等）		
特 徴	1) ケーブルラック及び配管材等を露出することによる学習的效果 2) 県立高校で初めて、タブレット端末によって各実習室照明の照度調整や部分点灯を感覚的に行うことを可能とし、省エネルギー化が図られている		
写 真			
			
機械加工実習室		廊 下	美術室

◆発注公所の推薦理由
<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドホール据付のダクト口処理について、より完全な止水を目的として製作工場に依頼し、現場での施工性を良くした結果、現場での大幅な施工時間の短縮に繋がっている ・出来形や施工体制等の自主管理を徹底した結果、照明器具からコンセントの配置及び接地にいたるまで現場条件に対応した出来映えが優れており、品質管理においても自社基準による資材搬入チェックシートを用いて資材の受け入れチェックが十分に機能している ・図面変更した内容を現場作業員へ伝える際、タブレット端末を使用し、迅速かつより具体的な指示を出すことができ、ミスの少ない施工を可能にした

◆施工業者からのPR
<ul style="list-style-type: none"> ・照度測定時における品質の安定性を確保する為に、別途測定高固定棒を製作して測定する事により照度測定値の品質バラツキを防ぐことに留意した ・完成引き渡し後のメンテナンスの容易さを確保する為に、天井内隠蔽部のケーブル接続ボックス蓋に設備名称及び回路番号を記載したシールを添付した ・現場内におけるリスク管理を目的として、朝礼前に血圧測定を実施することと、朝礼時に聞き取り調査および目視での顔色の確認を行い本人の健康状態を把握することで、現場を無事故で終える事が出来た

秋田県優良工事表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	天利 和紀
〃	農	林	水産部長	佐藤 博
〃	建	設	部長	前佛 和秀

秋田県優良工事表彰 幹事会名簿

幹事長	建設部	建設技監	柴田 公博
幹事	(秋田県入札制度適正化推進委員会技術専門部会)		
〃	部	会長	及川 洋
〃	専	門委員	徳重 英信
〃	専	門委員	永吉 武志
〃	(秋田県知事部局関係課室)		
〃	農	山村振興課長	伊藤 真人
〃	農	地整備課長	佐藤 暢芳
〃	水	産漁港課長	千葉 俊成
〃	森	林整備課長	高松 武彦
〃	建	設政策課長	平川 祐作
〃	技	術管理課長	田口 秀男
〃	都	市計画課長	石川 浩司
〃	下	水道課長	深井 力
〃	道	路課長	菅原 喬
〃	河	川砂防課長	小野 久喜
〃	港	湾空港課長	竹村 勉
〃	(秋田県教育庁関係課室)		
〃	総	務課施設整備室長	山崎 均

秋田県優良工事表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した工事のうち、優秀な工事を施工したものを表彰することにより、建設技術の向上を図ることを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、前年度に完成した工事とし、秋田県工事成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良工事表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該工事の出来形が優秀であること。
- (2) 当該工事全般の管理状況が良好であること。
- (3) 当該企業において労働災害がないこと。
- (4) 当該企業における各工事の施工成績が良好であること。
- (5) 建設業法を遵守し、他の模範とされる施工企業であること。

(推 薦)

第5条 各所属長は、表彰することが相当と認める工事があるときは、選考委員長へ推薦するものとする。

(選考委員会)

第6条 表彰すべき工事を選考するため選考委員会を置き、その構成は、別表第1のとおりとする。

2 選考委員会は、次項の幹事会の調査報告にもとづいて協議し、表彰すべき工事を決定するものとする。

3 選考委員会に幹事会を置き、その構成は別表第2のとおりとする。

4 幹事会は、各所属長より推薦のあった工事について、当該工事の調査を行い、その結果を選考委員会に報告するものとする。

(表 彰)

第7条 表彰の種類は、優良工事表彰、特別表彰、地域振興局長表彰とする。

2 被表彰者は、施工企業の代表のほか、その工事を担当した監理技術者等とする。

(事務局)

第8条 事務局は、技術管理課に置く。

(補 則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、昭和55年5月1日から施行する。

平成10年3月27日一部改訂

平成12年4月1日一部改訂

平成16年4月1日一部改訂

平成18年4月1日一部改訂

平成19年4月1日一部改訂

平成20年4月1日一部改訂

平成21年6月1日一部改正

平成22年4月28日一部改正

1. この要綱は、平成23年4月25日から施行する。

2. 平成22年度の豪雪又は東北地方太平洋沖地震に伴い、契約事項第20条第3項又は第21条第2項の規定に基づき、工期延長された工事で、平成23年4月1日から同年同月末日までに完成した工事については、本要綱第2条に規定する前年度完成した工事として取り扱うものとする。

この要綱は、平成24年4月1日から施行する。

平成28年2月9日一部改正

※上記要綱内の「別表第1」及び「別表第2」の構成員は、P37の名簿参照のこと

第2回秋田県優良業務表彰 業務一覧表

測量業務部門

番号	委託業務名	地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	秋田港海図補正測量業務委託 26-O251-Y3	秋田港 本港地区外	株式会社 石川技研コンサルタント	石川 武清	秋田港湾事務所
2	地方道路等整備事業(建設) 用地測量業務委託 I482-Y1	国道398号	柴田工事調査株式会社	柴田 昌英	雄勝地域振興局

地質調査業務部門

番号	委託業務名	地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	軟弱地盤解析業務委託 27-I542-Y2	河辺阿仁線	株式会社鹿渡工業	鎌田 明德	秋田地域振興局

土木設計業務部門

番号	委託業務名	地区名	業者名	代表者名	発注公所
1	調査設計業務委託 26-G352-Y2	杉沢上小阿仁線	株式会社 創研コンサルタント	田森 宏	北秋田地域振興局
2	黒森地区 復旧治山業務委託 RE1101B101	黒森地区	一般社団法人 秋田県林業コンサルタント	佐々木 誠	由利地域振興局
3	砂防堰堤詳細設計業務委託 L610-Y1	比内沢沢	柴田工事調査株式会社	柴田 昌英	仙北地域振興局


◆業務概要			
委託名	秋田港海図補正測量業務委託 26-0251-Y3		
地区名	秋田港 本港地区外		
商号又は名称	株式会社石川技研コンサルタント		
請負額	7,405,560 円	種別	海図補正測量業務
代表者	代表取締役 石川 武清		
管理技術者	笹渕 竜巳		
発注公所	秋田港湾事務所		
主任調査員	菅原 昭磨	調査員	佐藤 礼子
工期	平成27年3月13日～ 平成27年9月30日	完成年月日	平成27年9月30日
概要	1) 水深測量 L=122.6km 2) 関連調査 N=1式		

◆受賞者の声

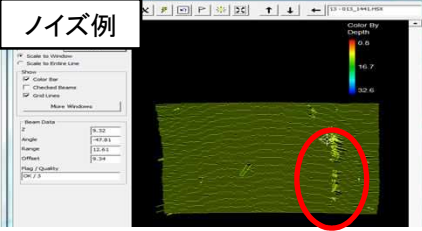
1. 業務の特徴
 港湾内での水深把握は船舶の安全航行に欠かせない要素であり、規定の水深が確保できていない場合は座礁等の重大事故に繋がる恐れがあります。水深測量は通常、シングルビーム音響測深機を使用していますが、この場合、船が走行する測線直下の水深データは取得できますが、測線と測線の間水深（海底地形）は未測深として残ってしまいます。
 その点、マルチビーム音響測深機を使用すると海底を「ほうき」で掃いた様に面で水深データを取ることができ、シングルビームでは確認しづらい海底面の起伏等を把握することが可能となります。そのため、本業務ではマルチビーム音響測深機を活用し、未測部分が発生しない高精度の水深測量を実施しています。

2. 業務遂行上の技術的対応ポイント
 マルチビーム音響測深機においては水中音速度、船体動揺、船位、方位、時刻等すべてのデータを統合して測深を行っています。特に水中音速度は深度データに大きく影響するため、その把握と管理は重要となります。今回の業務である大浜地区河口部は、塩分濃度等により差異が予想されたため、細心の注意を払うと同時に水中音速度計をこまめに投入し計測データの管理を行いました。また、内業では海中の魚群や浮遊物等により異常記録（ノイズ）が700カ所以上も発生したため、約2ヶ月を費やしてノイズ除去等を実施し報告書にまとめました。

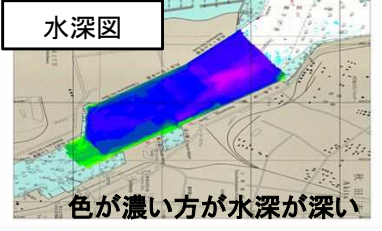
測量風景



ノイズ例



水深図



色が濃い方が水深が深い

◆発注公所の意見

- 本業務において採用したマルチビーム方式の音響測深機は、従来から使用している多素子方式の音響測深機と比べて、広い範囲の海底を一度に測量することから、効率的かつ高精度な測量が可能であり、測量時間が短縮されたため、航行する船舶への影響が軽減された
- 莫大な水深測量データの分析において、高度な技術力によりノイズ除去を行い、海図補正に必要なデータ解析が工期内の的確に実施された

◆業務概要

委託名	地方道路等整備事業（建設）用地測量業務委託 I482-Y1		
地区名	国道398号		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	6,477,840円	種別	用地測量業務委託
代表者	代表取締役 柴田 昌英		
管理技術者	伊藤 誠		
発注公所	雄勝地域振興局（建設部）		
主任調査員	伊藤 大貴	調査員	藤原 徹
工期	平成27年3月27日～ 平成27年6月30日	完成年月日	平成27年6月30日
概要	1) 用地幅杭設置 L=0.48km 2) 用地測量 A=17,600m ² 3) 用地境界仮杭設置 A=1,800m ²		

◆受賞者の声

1. 【作業方針】

本業務は、水田地帯を通る国道の拡幅工事に伴う土地取得のための用地測量です。現地作業が春の農繁期であり、各農家の農作業に支障を来さぬよう配慮し、協力をお願いする地権者に対して負担をなるべく軽減できるよう心掛けて作業を実施しました。

2. 【業務遂行上の課題とその対応について】

課題⇒農家として最も忙しい春作業（田植え）と、現地での用地測量作業が同一時期でした。

対応⇒①現地作業は2班体制で実施し、早期に境界確認ができるように工程管理を徹底しました。

②境界確認についても複数班で対応する事で地権者の立会・待機時間の軽減に努めました。

③地区全体として最も農作業に支障がない日程を地権者から事前に聞き取り調査し、立会日を決定しました。

④境界立会当日に都合がつかない地権者に対しては、地権者の意向を尊重し、日程調整のうえ立会を行いました。

結果⇒民地地権者からの境界確認を田植え前に終わることができた事により、公共用地境界確定協議に関連する関係機関からの境界確認も早期に終了する事ができました。

3. 【工夫した点】

境界測量等の基準となる補助基準点は、工事完了までを見据えて事業区域外の農道路肩等に合成樹脂杭（腐食防止）を設置しました。

4. 【品質確保】

当社が平成14年から運用するISO9001により、作業の各工程ごとに社内照査を行い、納品前には当社技術監理部による最終検査を経て納品しました。



◆発注公所の意見

- ・当業務の現場は国道沿いの農地であるが、現地での測量作業が春の農作業の時期と重なることから、境界立会については受注者側で関係者の農作業の日程について聞き取りを行いながら、地権者に配慮した作業を行っていた
- ・業務打合せでは関係機関との連絡を密にしながら、現場状況や検討事項について詳細な説明を行い、業務に対する積極的な姿勢が感じられ、円滑な業務遂行につながった

◆業務概要			
委託名	軟弱地盤解析業務委託 27-1542-Y2		
地区名	河辺阿仁線		
商号又は名称	株式会社鹿渡工業		
請負額	3,069,360 円	種別	軟弱地盤解析業務
代表者	代表取締役 鎌田 明德		
管理技術者	今野 政志		
発注公所	秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	樽田 太朗	調査員	鷺谷 吉宣
工期	平成27年9月18日～ 平成28年2月15日	完成年月日	平成28年2月15日
概要	1) 軟弱地盤解析 N=1式		

◆受賞者の声

本業務は、一般県道の道路改築工事の設計基礎資料として別途実施された地質調査結果をもとに軟弱地盤解析を行ったものである。業務の実施にあたっては以下の点に留意した。

1. 地質調査業務との綿密な連携

本業務と同時に実施された地質調査業務では、当初想定された地質状況に違いが見られたことから調査内容を変更する必要があるがあった。このため解析者の立場から適切なサンプリング対象層と土質試験内容を提案した。

2. 土質定数の設定

解析における合理的な地盤モデルの設定は極めて重要となる。特に、土質定数については土質N値、物理特性及び標準値などから採用定数として適切であるかどうか十分に検討して設定する必要がある。本業務では、特に盛土に伴う強度増加を評価する強度増加率がやや小さく、地層を代表する値としては合理的でないと判断した。このため、各種定数等を総合的に評価して、最終的には圧密試験結果及び一軸圧縮試験結果を基に算出した値を用いるものとした。

このようにして、解析に必要な土質定数を詳細に検討して解析モデルを設定し解析を行った。解析結果は、緩速盛土施工で盛土の安定性を満足できることになった。このため、当初は対策工法に関する一連の検討が見込まれていたが無対策での施工が可能となった。

3. 現地状況を考慮した施工

無対策での施工が可能となったが、盛土に伴い周辺地盤の隆起、側方移動が予測されるため道路両側の耕作田に支障がでないように施工は稲刈りが終わってからの時期とした。

```

graph TD
    A[地質調査業務  
ボーリング調査・SWS試験  
サンプリング・土質試験等]
    B[土質定数の検討]
    C[解析モデルの設定]
    D[解析・施工への提案]
    E[当該業務]
    
    A --> B
    B --> C
    C --> D
    
    F[サンプリング対象層  
土質試験内容]
    A -.->|提案| F
    
    B --- E
    
```

◆発注公所の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・ 別途発注の地質調査業務に対して、当該業務において、適切な地質調査箇所及び内容の提案を行った結果、より精度の高い解析を実施することができた ・ 解析に必要な土質定数を詳細に検討したうえで解析を行った結果、緩速盛土施工で盛土の安定性を満足できることとなり、工事コスト縮減へとつながったことから、十分な評価に値する成果となった

◆業務概要			
委託名	調査設計業務委託 26-G352-Y2		
地区名	杉沢上小阿仁線		
商号又は名称	株式会社創研コンサルタント		
請負額	9,430,560 円	種別	土木設計業務（詳細設計）
代表者	代表取締役 田森 宏		
管理技術者	浅川 敬公		
発注公所	北秋田地域振興局（建設部）		
主任調査員	船木 孝仁	調査員	沼田 哲務
工期	平成27年3月16日～ 平成27年6月19日	完成年月日	平成27年6月19日
概要	1) 法枠工詳細設計 N=1式 2) 雪崩予防施設詳細設計 N=1式 3) 落石防護柵詳細設計 N=1式 4) 地質調査(ボーリング調査) N=2箇所		

◆受賞者の声

1. 業務の特徴

本業務は、平成27年3月2日の融雪期に発生した、斜面崩壊箇所の災害対応業務でした。

斜面には不安定土塊や岩塊が残存しており、二次的災害が懸念されたため、一刻も早い本復旧工事に向けた調査設計成果が求められていました。

2. 業務遂行上の留意点(課題)

- ① 安全・迅速・正確な調査
- ② 現地状況を十分に反映した確実性の高い詳細設計
- ③ 手戻りのない業務遂行

3. 課題解決に向けて気をつけた点・工夫した点

- ① 斜面上部側に防護板を設置して、斜面状況の定時点検を行いながらボーリング調査を実施しました。モノレール架設班とボーリング作業班に分けて、効率的な工程管理を心がけました。調査結果の精度を高めるため、地表踏査から得られた地質と構造データを用い、ボーリングの点データを面的な地質情報に反映させました。
- ② 調査結果を反映した、地形・地質状況の異なる複数の検討断面を用いて、対応可能な確実性の高い対策工法を提案しました。法面・落石・雪崩対策の複数の対策工が混在するため、各対策工の長所・短所を見極めて、多角的な検討を行いながら、最終的な対策工法の絞り込みを実施しました。施工時期や施工性を十分に配慮した対策工法を検討しました。
- ③ 社内で災害対応体制を確立して、設計レビューを繰り返し実施しました。関係機関との連絡を密にしながら業務を実施しました。

【災害発生時の状況】



◆発注公所の意見

- ・当業務は融雪による斜面崩落の発生直後からの作業であり、二次的災害が非常に懸念されたことから斜面の定点観測をしながらの業務であった
- ・降雪前に復旧工事を完成させる必要があったため、地質調査から詳細設計まで非常に短い作業スケジュールのなか、精度の高い調査及び的確な設計内容で、満足のいく成果であった

◆業務概要

委託名	黒森地区 復旧治山業務委託 RE1101B101		
地区名	黒森地区		
商号又は名称	一般社団法人秋田県林業コンサルタント		
請負額	3,524,040 円	種別	土木設計業務（詳細設計）
代表者	理事長 佐々木 誠		
管理技術者	熊谷 勝義		
発注公所	由利地域振興局（農林部）		
主任調査員	小坂 琢也	調査員	小野 圭
工期	平成27年5月18日～ 平成27年12月18日	完成年月日	平成27年12月18日
概要	1) 一般調査業務 N=1式 2) 測量業務 N=1式 3) 設計業務 N=1式		

◆受賞者の声

1. 業務の特徴

業務箇所は平成25年7月12日の豪雨により山腹崩壊が発生し、崩落土砂が溪流を170mに渡り流下し、水田及び一級河川黒森川等に甚大な被害を与えた現場で、その復旧対策が求められた。平成26年度に設置したボーリング孔3箇所において、平成27年度は継続観測と山腹工の設計を実施した。発生源である山腹荒廃地は、地すべり性崩壊の可能性があることから、3箇所のボーリングによる地質調査を実施すると共に、18ヶ月にわたり歪計・地下水位計の観測を実施した。

2. 業務実施上の課題

業務の実施にあたっては、①地すべり性崩壊であるか通常の山腹崩壊であるかの判断、②土砂収支の検討、③浸透水・地表水の処理が課題となった。

3. 課題の解決

①ボーリング孔の観測の結果、歪計においては、融雪期・多雨期において地すべり性の有意な変動は認められず、地下水位観測においては、斜面内の不安定土塊の水位は徐々に低下する傾向にあった。以上の結果から、地すべり性崩壊の可能性は低いと判断し、通常の山腹崩壊地として設計することとした。

②土砂収支については、配置する土留工の高さ、計画位置、基数を数パターン検討し、残土が最も少なくなる土留工の配置として、斜面脚部、地形変化点に土留工3基を系列的に配置した。

③水処理については、現地踏査により湧水等の位置・経路を特定し、浸透水が集中する凹部に暗渠工を効率的に配置した。さらに、水路工により浸透水、地表水を速やかに溪流まで排水する計画とした。



◆発注公所の意見

- ・本業務は、豪雨により発生した山腹崩壊の復旧対策・森林の機能回復を設計する業務であり、現地は滑落崖や亀裂等の不規則な山腹斜面を呈し倒木が大量であったほか、湧水が複数箇所から発生するなど、調査・測量作業を行う環境としては非常に厳しいものであった
- ・このような状況において作成された業務成果品の内容は優れており、特に現地の倒木を有効活用する点と、残土が極力発生しない工夫は評価に値するものである

◆業務概要			
委託名	砂防堰堤詳細設計業務委託 L610-Y1		
地区名	比内沢沢		
商号又は名称	柴田工事調査株式会社		
請負額	10,876,680 円	種別	土木設計業務（詳細設計）
代表者	代表取締役 柴田 昌英		
管理技術者	鹿子沢 一衛		
発注公所	仙北地域振興局（建設部）		
主任調査員	内藤 秀之	調査員	保坂 俊輔
工期	平成26年11月25日～ 平成28年3月4日	完成年月日	平成28年3月4日
概要	1) 砂防堰堤詳細設計 N=2基		

◆受賞者の声	
<p>1. 【業務の特徴】 当該箇所は、①一部地すべり防止区域内に位置する、②下流域は地形的特性がある、③沈砂池計画地は軟弱地盤である等の地形・地質的特徴のある溪流で、これらを解決することが課題でした。</p> <p>2. 【技術的留意点（特に気を付けた点）】 ①砂防堰堤の構造形式：当該地は、地すべり防止区域に接していたため、施設構築後に地すべりに悪影響を及ぼさないよう施設配置に留意しました。また、砂防堰堤の規模抑制のため管理型堰堤としました。 ②沈砂池の基礎形式の決定：沈砂池計画地は礫混じりシルト(N値10)が10～15m堆積する軟弱地盤であること及び地すべり防止区域に近接していることに留意し、砂防施設で実績があり施工性・経済性に優れたNETIS登録技術コマ型基礎工法を選定しました。</p> <p>3. 【工夫した点】 ○下流域の施設形式決定：平地を活用した沈砂池形式と谷地形を活用した堰堤形式の二形式を検討しましたが、地山高が低いことや、下流域の平地の活用が可能なことなどの当該地の地形的特性を十分に活かした沈砂池工形式を選定しました。工法選定に際して発注者担当の方々と綿密な打合せ協議を重ね、最適な工法を計画しました。</p> <p>4. 【苦勞した点】 ○流木対策工：流木対策の設計方針が明確に示されていないなかで、設計に際してはその根拠となる考え方を示すことに苦勞しました。これに対し、現行基準を基に不測の事態に対処した最小対策を計画しました。 ○護岸工の設置：流線が大きく屈曲していたため、土砂流出時の氾濫を防止することに苦勞しました。これに対し、護岸工で導水を図る計画としました。</p>	<p>計画地計画状況</p>

◆発注公所の意見
<ul style="list-style-type: none"> ・当業務は土石流危険溪流における砂防堰堤の詳細設計業務であるが、溪流が途中で湾曲していることから、砂防堰堤と沈砂池の2施設で対策を行う計画となっている ・下流側の沈砂池においては、起伏の少ない地形となっており、計画捕捉量を確保する施設設計に苦慮し、また、軟弱地盤対策についても経済的となるよう工法を工夫した ・流木対策については、国の設置方針の移行期間ということもあり、対応を工夫した

秋田県優良業務表彰要綱

(表彰の目的)

第1条 県が発注した業務委託のうち、優秀な成績で業務を完了したものを表彰することにより調査及び設計を行う技術者の育成・確保を図り、もって社会基盤の品質を確保することを目的とする。

(表彰の対象)

第2条 対象は、設計委託業務（測量、地質・土質調査、設計）のうち表彰実施年度の前年度完了した業務委託とし、秋田県委託業務成績評定に基づき評価されたものとする。

(表彰の名称)

第3条 名称は、「秋田県優良業務表彰」とする。

(表彰の基準)

第4条 次のすべてを満足すること。

- (1) 当該業務の成績評定が優秀であること。
- (2) 当該業務において事故等による減点がないこと。
- (3) 当該企業における各業務の成績が良好であること。
- (4) 当該企業において各業務の成果品について瑕疵修補又は損害賠償が実施されていないこと
- (5) 他の模範となるものと認められる業務であること。

(選考委員会)

第5条 表彰すべき業務を選定するため選考委員会を置き、その構成は別表第1のとおりとする
2 選考委員会は、優良業務表彰候補者名簿にもとづいて、表彰すべき業務を決定するものとする

(表彰)

第6条 被表彰者は受託企業の代表のほか、その業務を担当した管理技術者とする。

(事務局)

第7条 事務局は、技術管理課に置く。

(補足)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附則

この要綱は、平成27年4月1日から施行する。
平成28年6月1日一部改訂

秋田県優良業務表彰 選考委員会名簿

選考委員長	副	知	事	堀井 啓一
選考委員	総	務	部長	天利 和紀
〃	農	林	水産部長	佐藤 博
〃	建	設	部長	前佛 和秀



高 質 な 田 舎
AKITAVISION

ユタかな国へ

あきた
びじょん
た

